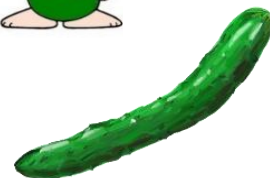


むつみ・ハウジング通信



第17号
2022年
きゅうり号



～生きた化石【ホウネンエビ】～



先日、近所のペットショップで子供がホウネンエビの飼育キットのようなものを手にしており、育ててみたいとのことで早速飼育してみました。調べてみると生物として約2億年の歴史があり、野生でも初夏に水田などに多く見られる生物とのことです。卵は一見粉のように小さく、成体でも1～2センチほどにしかならないようです。お水を準備して、水と卵をよく振って混ぜ、水槽に戻します。5日程で孵化しましたが、1週間程で姿を見なくなりました。長く生きても50日くらいということなのですが、あまりに小さくて観賞にならなかったのが、余った卵で再度挑戦中です。強固な卵が2億年もの間、命を繋いでこられたようですが、想像もつかないほど長い年月存在している生物は何だか神秘的なような不思議な感覚です。ちなみに最初に興味を持った子供たちは思ったようなものではなかったのかすぐに飽きてしまったようでした…。何事も経験ですね。 大石



どようのうしの日

今年も暑い鰻の日がやって来ました。今年も7/23と8/4の2回あったようですが、年1回食べられるかの贅沢品になってしまいました。今年も中学時代の同級生がやっているお店(八幡町の名店よりふっくら!)に家族が手伝いに行ったお駄賃として、頂けました。子供の頃は【土曜の牛】だと思っていた私。なぜ、土曜日じゃない日にウナギを食べるのか不思議でした。【土用の丑】には、暦や干支の深い関係があるようですが、未だに理解できていません。それでも鰻が美味しいことはすごく理解できています!夏バテだけでなく、コロナウイルスも吹き飛ばす効果が有りますように! 佐竹



休日の過ごし方

最近の休日は友達とカフェでゆっくりすることが多くなりました。昔は海に行って遊んだりBBQなどアウトドアな遊びばかりしていましたが、歳をとったのかインドアな休日を満喫しています。顔が強面なので似合わないと言われるのですが、、 櫻井



目指せ自給自足!! マキ婆の農業体験記 No.8

早々と梅雨明けしたのに湿度が高いせいなのか・・・べと病発生でキュウリが…
茄子・インゲン豆などの夏野菜もこんなに不作は農業歴10年で初めてです。
異常気象に合わせた栽培方法も考えて行かないと・・・。
夕顔は大きく育ったので、かんぴょう作りに挑戦してみます。 遠藤 真紀子



猛暑を乗り切りたい!

現在一人暮らしをしている私ですが、我が家の冷蔵庫には製氷機がついていないため、水を飲むにも水道から出たままの温度のものを飲まなければいけなく、この暑さの中だとぬるくてたまりませんでした。

そんな中で一つのアイデアが思いつき実践してみると冷たい水をおいしく飲めるようになりました。

そのアイデアとは、空のペットボトルに水を入れて冷凍庫で凍らせるというものなのですが、ここで一工夫。すぐにでも冷たい水が飲みたい私は、ペットボトルいっぱいに入水を入れるのではなく、半分ほどだけ水を入れて凍らせたものに水を入れて飲むというものです。一人暮らしの冷蔵庫で製氷機がない方は是非この方法を試して、私と一緒にこの暑い夏を乗り切りましょう!

遠藤 高德



さとうの植物譚

夏の草花の最盛期です。今年も大雨や暑い日が多く、鉢物は雨や日光が当たり過ぎないように、あちらからこちらへと場所を移動させています。さて、今回は茶碗蓮です。今年の6月にDIYに置いてあるのを見つけ購入しました。昨シーズンの売れ残りだったらしく弱々しい感じでしたが、肥料を与え日光をたっぷり当てたところ花を付けるまでになりました。水の中にはメダカを数匹入れております。 佐藤

